

News Release

報道関係者各位
2019年8月8日

療養中の子どものためのプレイルーム『マニユライフわくわくる一む』 国内最大級のスペースで島根大学医学部附属病院に開設

- 全国で16カ所目、AYA^{*1}世代向けプレイルームなど総合的機能を備えた病院内プレイルーム

マニユライフ生命保険株式会社(取締役代表執行役社長兼 CEO:吉住公一郎、本社:東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)が社会貢献活動の一環として取り組んでいる、療養中の子どものためのプレイルーム「マニユライフわくわくる一む」が、寄贈先である島根大学医学部附属病院(島根県出雲市、以下「島根大学病院」)にて完成し、8月1日に贈呈式と内覧会が行われました。

「マニユライフわくわくる一む」の設置は、子どもの療養環境向上のための取り組みとして、特定非営利活動法人子ども健康フォーラムと共に、マニユライフ生命が2007年より継続して行なっている活動です。療養中の子どもたちの心のケアを行う中核施設として、プレイルームの意義を啓発し、全国の小児医療関連施設へのプレイルーム設置を支援しており、島根大学病院は16カ所目の設置先となります。

8月1日の贈呈式には、島根大学病院より井川幹夫病院長および竹谷健小児科教授、子ども健康フォーラムより前田正信理事長および篠原佳則理事・運営委員長、公益財団法人ヘルスサイエンスセンター島根より広沢卓嗣理事長、マニユライフ生命より常務執行役員兼チーフ・マーケティング・オフィサー(CMO)の浅井鈴美子が参加しました。続いて、新たに完成したマニユライフわくわくる一むの開設を祝して、子どもたちによるテープカット(写真)と内覧会が行われました。

島根大学病院は県内唯一の特定機能病院^{*2}として、がん治療を中心にAYA世代の診療を積極的に行なっています。乳幼児から若年成人までの幅広い世代が、年齢や目的に応じて心地よく過ごせるプレイルームにしたいという病院の希望により、乳幼児から学童期の子ども向けプレイルームのほかにAYA世代向けプレイルームなどを設け、一つのエリアに総合的な機能を備えた「マニユライフわくわくる一む」の設置が実現しました。

マニユライフ生命は、今後も社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。



テープカットの様子：島根大学病院長 井川幹夫（後列中央）、子ども健康フォーラム理事長 前田正信（後列右）、マニユライフ生命常務執行役員兼 CMO 浅井鈴美子

^{*1} 15歳から30歳前後の思春期・若年成人 (Adolescent and Young Adult: AYA)

^{*2} 高度先端医療の提供・開発・研修などに対応できる病院として厚生労働大臣が承認した病院

<食堂・パントリー・授乳室>

これまではプレイルームと家族向けの食堂が同じ部屋にありましたが、今回、子どもたちのための遊びの空間とは別に、病棟配膳のためのパントリーや付き添いのご家族が落ち着いて食事ができる食堂を整備しました。授乳のための独立した専用室も食堂内に備えています。

<多目的ルーム>

季節のイベントや軽い運動などに利用できるスペースとして、また、研修や会議を行うなど多目的に利用できるスペースです。これまでエレベーターホールで開催していた卓球などの軽い運動やクリスマス会などのイベントのほか、用途に応じて幅広く多目的室を利用できます。

■「マニユライフわくわくるーむ」設置実績(2019年8月現在)

	施設名(所在地、選考年)	概要(完成年)
1	豊田厚生病院(愛知県、2007年)	短期入院用と中長期入院用の2つの病棟プレイルーム(2008年)
2	近畿大学医学部附属病院(大阪府、2007年)	病室を改修した病棟プレイルーム(2008年)
3	大阪市立総合医療センター(大阪府、2008年)	思春期コーナーがある病棟プレイルーム(2009年)
4	中部ろうさい病院(愛知県、2008年)	病棟プレイルーム・処置室に連動した外来プレイコーナー(2009年)
5	旭川厚生病院(北海道、2009年)	乳幼児コーナーを設けた病棟プレイルーム(2010年)
6	大阪府立母子保健総合医療センター(大阪府、2009年)	国内初の青少年向けプレイルーム(2010年)
7	滋賀県立小児保健医療センター(滋賀県、2010年)	重症心身障害児向け病棟プレイルーム(2011年)
8	星総合病院(福島県、2011年)	東北地方初 本格的プレイルーム(2013年)
9	心身障害児医療療育センター(東京都、2012年)	心身障害児向けプレイルーム(2013年)
10	茨城県立こども病院(茨城県、2012年)	子ども専門病院における青少年向けプレイルーム(2014年)
11	北里大学病院(神奈川県、2013年)	小児病棟プレイルーム・外来プレイコーナー(2015年)
12	堺市立総合医療センター(大阪府、2014年)	幅広い年齢の子どもたちに対応する小児病棟プレイルーム・外来プレイコーナー(2015年)
13	済生会横浜市東部病院(神奈川県、2015年)	わくわくるーむ初となる屋外スペースを含むプレイルーム(2017年)
14	国立国際医療研究センター(東京都、2016年)	既存の楕円形プレイルームを生かした、ユニークなプレイルーム(2017年)
15	大阪急性期・総合医療センター(大阪府、2017年)	「癒しの森」をテーマに、幅広い年齢の子どもたちがさまざまな遊びを楽しむことができるプレイルーム(2018年)
16	島根大学医学部附属病院(島根県、2018年)	AYA ルームなど、多様な子どもたちに対応する総合的機能を備えた過去最大スペースのプレイルーム(2019年)

島根大学医学部附属病院について

島根大学医学部附属病院は、島根県唯一の特定機能病院であり、山陰地方の子どもの外科疾患を集学的に診療できる病院^{*3}です。がん治療を中心とした思春期・若年成人世代の診療も積極的に行なっています。

^{*3} がん治療における外科療法、化学療法、放射線療法、免疫療法等を組み合わせて行う治療

特定非営利活動法人「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児保健医療施設である「あいち小児保健医療総合センター」(愛知県大府市)をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けています。(ホームページ <http://www.npo-cln.com/>)

マニユライフ生命について

マニユライフ生命は、カナダを本拠とする大手金融サービスグループ、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マニユライフ)のグループ企業で、2019年、設立20周年を迎えました。プランライト・アドバイザー(自社営業職員)、金融機関、代理店の3つの販売チャネルを通じて、法人ならびに個人のお客さまへ、先進的な商品と質の高いサービスを提供しています。詳細はホームページ(www.manulife.co.jp)をご覧ください。自分らしい、これからの生き方「Life 2.0」を応援するウェブサイト「Life 2.0 ガイド」(<https://life2.0guide.jp/>)や各種公式 SNS ページ: [Facebook](#)、Twitter ([@ManulifeJapan](#))、Instagram ([@manulifejapan](#)) で情報発信しています。

